

にこにこ入居者ミーティングのお知らせ

“ケアハウスで快適に生活していただくために”をテーマとして、入居者の方々と職員での話し合いを年2回行っております。毎回第三者委員の方々にも参加いただき、ご助言をいただいております。

今年度2回目ににこにこ入居者ミーティングを下記の日程で行います。

日時：令和5年3月30日（木）9:00～9:50
場所：ケアハウス食堂

1. 施設の運営に関するご意見・ご要望

- イ. 生活支援への不安
- ロ. 設備の維持
- ハ. 行事・娛樂の提案
- ニ. コロナウイルス対応
- ホ. 食事に対する要望

2. 共同生活に関するご意見・ご要望

主に上記のようなテーマで話し合いを進めていく予定です。職員だけの目では気づきにくい点も多くあると思います。皆様からのアドバイスをいただき、一緒に王喜の郷での生活をよりよくしていきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

※来月からの王喜の郷の輪をお楽しみに！

設立六十周年 日本歌手協会

歴代会長たちの歌声（後編）

日時 三月一日（ケアハウス王喜の郷・食堂）十三時三十分～十五時
三月二十二日（シニアハウス王喜の郷・食堂）十三時三十分～十五時

「懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください♪」

「会費」三〇〇円（お茶代・資料代）※今月は第1・第3水曜日に開催します

「問い合わせ」山根（ミント）中村（ケアハウス）

林伊佐緒 田端義夫 青木光一 ペギー葉山

昭和レトロコンサート

～行楽と音楽と踊るファンタジー～

たんぽぽ通信

3月1日発行 193号
ケアハウス王喜の郷 令和5年3月号

Webページ <http://www.ryokujuukai.jp>

巻頭言

皆様ご存知かと思いますが、今月中旬より、国のマスク着用についてのルールが変わります。個人の主体的な判断が尊重されることになりますが、王喜の郷のような高齢者施設にはコロナウイルスの重症化リスクの高い方も多く、マスクの着用を推奨されています。王喜の郷でもご自身を感染から守るため、また周囲の方に感染を広げないためにも引き続きマスクの着用のご協力をお願いいたします。

ケアハウス王喜の郷は1997年（平成9年）に設立されました。25年を過ぎ、建物の修繕やメンテナンスが多く必要になってきてています。ケアハウスと同時に設立されたデイサービスも、今月中旬から浴室のボイラー、ろ過装置取替工事を予定しています。この間、デイサービス利用の皆様にはケアハウス2階の浴場を使っていただく予定です。入居者の方々、また普段ケアハウス2階浴室をご利用の方にはご迷惑をおかけいたしますがご協力をお願いいたします。

デイサービス浴室工事

期間：令和5年3月13日（月）～25日（土）

施設長 末谷千秋

3月のお誕生日＆行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 レトロコンサート	2	3 ひなまつり	4
5	6 啓蟄	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20 ピューティヘルパー	21 春分の日	22 レトロコンサート	23	24	25
26	27	28	29	30 にこにこ ミーティング	31	

*誕生日：お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。

***ピューティヘルパー：出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。

***イズミ行き：午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。（月に5回）⇒しばらくお休み。

****レトロコンサート：午後1時半～3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。

☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のシニアハウス。同じ内容です。参加費300円

****ななの会（習字）はお休みさせていただきます。

「生誕110年 林伊佐緒を語る」

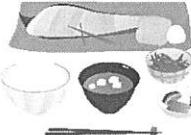
昨年、下関市王喜出身の歌手で作曲家、林伊佐緒は生誕110年を迎えて下関市内で数々の記念イベントを開催しました。

私が林伊佐緒を知ったのは小学6年生の時でした。当時、テレビの歌番組で藤山一郎が歌う姿を観て昭和歌謡に興味を持ち始め、昭和歌謡の番組が放送されると必ずビデオに録画して何回も繰り返し観たものでした。その時、必ず歌番組に出演していたのが最晩年の林伊佐緒でした。温厚そうな笑顔でユーモアたっぷりの冗談を交えたトークと低音の美声で歌う「ダンスパーティーの夜」が子供ながら印象に残っています。亡き祖父から王喜出身の歌手とは聞いていましたが、当時丸山町に住んでいた小学生、中学生の私には王喜がどちらを向いているやらまったく見当もつきませんでした。まして将来、王喜の高齢者施設に就職するとは、また「林伊佐緒 健ぶ会」を自らが立ち上げる事になるとは夢にも思っていませんでした。

林伊佐緒は明治45年、厚狭郡王喜村（現：下関市王喜）に父・林正二と母・林コヤの長男として誕生しました。林伊佐緒には姉が一人いましたが林伊佐緒が10歳の時に姉は産後の肥立ちが悪く、若くしてこの世を去りました。林伊佐緒は、この姉を大変に慕っていました。後に林伊佐緒は上京して結婚、昭和16年に長女が誕生した際、この亡き姉の名前から漢字の二字をもらい長女に命名をしました。林伊佐緒は幼少時代から母の演奏する琴の音色に触れながら育ちました。そして、王喜尋常小学校（現：下関市立王喜小学校）を卒業後、興風中学校（現：山口県立小野田高等学校）に進学、陸上に水泳とスポーツ万能でハーモニカの演奏にも没頭しました。その頃より将来は音楽で生計を立てたいと思い初め、興風中学校を卒業後は音楽学校へ進学したい気持ちを母へ打ち明けるのでした。

ミントの家 山根 徹

＜次号へつづく＞

<p>ケアハウス王喜の郷</p> <p>3月です。おひな祭りですね。</p> <p>世界では戦争や地震と色々心の沈む事が起こっていますが3月になりケアハウス食堂に飾ってあるおひな様を見ると幸せな気持ちになります。</p> <p>食事も肉、魚、地元野菜の数々、</p> <p>バランスよく考えられており、配膳する時“わあ～美味しそうね！”や“季節の物ですね”とか小さな声で話しかけられるととても嬉しくなります。</p> <p>私も皆様のようにゆっくりとした時間、美味しい食事など安心、安全なサービスが受けられるような人生であればいいなと思います。どうぞしっかり食べられて健康に毎日過ごされますよう心より願っております。</p>  <p>ケアハウス 橋本 万千代</p>	<p>ケアハウス王喜の郷(厨房)</p> <p>2019年に技能実習生として来日しました。あっという間に3年が経ちました。日本に残る事を決めて12月に特定技能の在留資格をもらいました。</p> <p>話は変わりますが3月からベトナム人の実習生が3名厨房に入ります。新しいベトナムの子たちが仕事に慣れたら私は1ヵ月帰国させていただきます。3年間家族と離れていたので家族と友達に会いたいです。ワクワクしています。戻ってきたら毎日美味しい料理を作つていけるように頑張ります。</p>  <p>厨房 チャン カイン チン</p>	<p>王喜の郷デイサービスセンター</p> <p>寒気の中にも、徐々に春の訪れが感じられるようになってきました。</p> <p>2月3日の節分の日には、皆さんのが今年1年の健康と幸せを願い、鬼に扮した職員に「鬼は外、福は内」と豆をぶつけられました。</p> <p>3月3日は桃のお節句ですね。</p> <p>デイサービスでは今年も7段飾りのお雛さまを飾つて、皆さんに見て頂いています。</p> <p>桃のお節句を前に、折り紙や千代紙でお雛さまを職員と一緒に作つておられました。</p> <p>綺麗な物を見たり作つたりすると、頭の体操や刺激になると言われています。これからも季節にちんだ色々な飾り物を、皆さんと作つて行きたいと思っています。</p> <p>介護職員 藤永 いさみ</p>	<p>グループホーム王喜の郷</p> <p>新年よりいろいろな行事が開催され、豆まきでは子供の頃からの思い出話をされながら、皆さん勢よく豆をまかれました。生き生きとされた表情がみられ、今年一年健康で過ごして頂けるように思いました。2月8日は習字を行い、「風」「青空」「春」「雨」から選んで自分の書きたい文字を書かれ、作品は展示しています。少しずつ暖かくなり、外気浴や外出機会を作り、活動を増やしていきたいと思っています。</p> <p>お勧めのスポットがあれば、お聞かせください。</p> <p>日頃からの訓練が大切なので、素早く行動するため避難訓練(夜間想定)を2月14日に行いました。夜間職員一人での避難誘導は困難だと思われます。皆様ご協力をお願いいたします。</p> <p>管理者 和田 育恵</p>
<p>王喜の郷居宅介護支援センター</p> <p>私たち介護支援専門員のスキルアップのための研修が定期的に行われています。令和5年2月は「虐待関連における悪質クレーム対応」でした。</p> <p>クレームに対する予防策や契約書や記録の重要性について講義を受けました。電話の対応、記録の取り方、契約内容について、日頃の業務を振り返り学ぶことが出来ました。説明と納得は違うことや、利用者とご家族とのコミュニケーションをしっかりと取り、信頼関係を築くことが大切だと改めて感じました。自分ペースで話しを運んでしまうので言葉遣いに気をつけて会話をするよう心掛けたいと思います。</p> <p>分からないこと等ありましたらお気軽に問い合わせください。</p> <p>介護支援専門員 田邊 美江</p>	<p>王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか</p> <p>訪問先で、「最近電気代が急に高くなった」という話をよく聞きます。</p> <p>節電のため、暖房器具を使わず寒さを我慢されている方がおられます。無理に我慢すると、体調を崩されることもあるかと思います。</p> <p>ヘルパー訪問時には、暖房器具のタイマー設定や温度調節、衣服の調節などの声かけをさせていただいている。エアコン消し忘れ防止のタイマー設定や設定温度を1・2度下げるだけでも節電になります。</p> <p>無理のない節電と寒さ対策の提案を今後も行つていきたいと思います。何か気になる事などありましたらお声かけ下さい。</p> <p>訪問介護員 藤成 舞</p>	<p>王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷</p> <p>日に日に寒さも和らぎ、春の陽気・気配が感じられるようになりました。</p> <p>今、ミントでは3月3日のひな祭りにちなんでお雛様のイラストに色をぬって頂き、掲示しています。</p> <p>感想を聞くと「みんなきれいにぬりよる」と褒めたり「見本を見んと分からん」など言われながらも、それぞれバランスよく色を使い仕上げておられました。</p> <p>また、手の運動・指のリハビリになると話される方もおられました。日頃からそういった声はよく聞かれていて、「これから暖かくなったらもうちょっと動くようになるやろ」と体操や手指の運動への前向きな様子が見受けられています。</p> <p>介護職員 上杉 加代</p> 	<p>放課後等デイサービス さくら</p> <p>毎年、さくらでは子ども達の成長をたくさん見る事ができます。特定の友達の行動に対して過剰に反応して怒ったり、接触をしに行っていたのが、年下の子の行動を見守り遊びに付き合つて、いけない所は優しく注意するようになります。自分本位で動いていたのが、「いいよ」と譲ることが出来る様になりました。マイルールで遊びの内容を変えていた子きちんとルールを守つてやり始め、ルールを守らない子に対して意見をする様子が見られるようになったりと形は様々です。けれど、どの子もすぐに成長が見られたわけではなくて、友達と話をし、遊び、一緒にやってみたり、すぐ出来ないことでも頑張つてみて失敗して、一人で難しければ二人でまと取り組むことを繰り返し諦めずに頑張ってきた成果だと思います。今後も子ども達の成長を楽しみに応援していきたいと思います。</p> <p>さくら支援員 塩谷 一雅</p>